

## 令和2年度 年間授業計画

教科:(工業)科目:(設備工業製図) 対象:(第1学年 設備工業科)

教科担当者:(五十嵐義徳 ㊦ 金子茂雄 ㊦)

2単位 設備工業製図 (実教出版)

1年間の計画を確認した後押印

教科	教務	副校長	校長

	指導内容 【年間授業計画】	科目設備工業製図の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
4 月	オリエンテーション 製図について 文字の練習 (英字)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本項目を自分の言葉で説明で</li> <li>・ノートが明瞭にかかかれている。</li> <li>・速さ、仕上がり、丁寧さ</li> </ul>	6
5 月	線の練習 (線の種類) 線の練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドラフターの使用方法を習得させる。</li> <li>・図面に用いる線について、正しく、きれいに、迅速にかけるよう習熟させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲態度と出席状況。</li> <li>・ノートが明瞭にかかかれている。</li> </ul>	6
6 月	文字の練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図面に用いる文字について、正しく、きれいに、迅速にかけるよう習熟させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲態度と出席状況。</li> <li>・ノートが明瞭にかかかれている。</li> </ul>	8
7 月	第三角法による製図の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三角法による製図の基礎について理解ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・J I S規格・製図用語を用いた授業を理解できる。</li> </ul>	6
8 月				
9 月	住宅平面図 (ワンルームマンション)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図用具・製図器を用いて住宅平面図をかく方法を理解し、正しい作図ができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・J I S規格・製図用語を用いた授業を理解できる。</li> <li>・ノートが明瞭にかかかれている。</li> </ul>	8
10 月	住宅平面図 (RC造)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図用具・製図器を用いて住宅平面図をかく方法を理解し、正しい作図ができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概要を理解し、実践的な態度を身に付けようとしている。</li> <li>・J I S規格・製図用語を用いた授業を理解できる。</li> </ul>	4

11月	住宅平面図（RC造）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図用具・製図器を用いて住宅平面図をかく方法を理解し、正しい作図ができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 概要を理解し、実践的な態度を身に付けようとしている。</li> <li>・ J I S規格・製図用語を用いた授業を理解できる。</li> </ul>	6
12月	住宅平面図（木造建築）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図用具・製図器を用いて住宅平面図をかく方法を理解し、正しい作図ができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 概要を理解し、実践的な態度を身に付けようとしている。</li> <li>・ J I S規格・製図用語を用いた授業を理解できる。</li> <li>・ ノートが明瞭にかかかれている。</li> </ul>	8
1月	住宅平面図（木造建築）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図用具・製図器を用いて住宅平面図をかく方法を理解し、正しい作図ができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 概要を理解し、実践的な態度を身に付けようとしている。</li> <li>・ J I S規格・製図用語を用いた</li> <li>・ ノートが明瞭にかかかれている。</li> </ul>	6
2月	住宅平面図（木造建築）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 木構造の部材について特性を理解する。</li> <li>・ 施工についての概要を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実践的な態度を身に付けようとしている。</li> <li>・ J I S規格・製図用語を用いた授業を理解できる。</li> <li>・ ノートが明瞭にかかかれている。</li> </ul>	6
3月	住宅平面図（木造建築）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耐震診断、耐震補強、耐震改修の重要性を理解する。</li> <li>・ 木構造の部材について特性を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ J I S規格・製図用語を用いた授業を理解できる。</li> </ul>	6